

# 環境経営レポート

## 令和04年度



活動期間 令和04年7月1日～令和05年6月30日  
(2022.7.1) (2023.6.30)

令和05年9月30日作成  
(2023.9.30)

令和06年1月19日改訂  
(2024.1.19)

大竹建設株式会社

# 目 次

## 環境経営レポート

	ページ
1 組織概要	1
2 認証・登録の範囲	1
3 環境経営方針	2
4 主な環境負荷の実績と基準値の見直し	3
5 環境経営目標とその実績	3
6 主要な環境経営計画の内容	4
7 環境経営計画の取組結果	5
8 環境関連法規制の遵守状況	6
9 環境経営計画の取組評価と次年度の取組	7
10 実施体制	8
11 代表者による全体の取組状況の評価	9

## 1. 組織概要

(1) 名称及び代表者名

大竹建設株式会社  
代表取締役 大竹 光

(2) 所在地

本 社 茨城県取手市小文間5584番地  
TEL:0297-77-8408  
FAX:0297-74-7766

(3) 環境管理責任者 大竹 公子

(4) 資本金

7,200万円

(5) 会社設立

昭和58年5月10日

(6) 事業内容

建設業の種類	許 可
土木工事業 建築工事業 とび・土工工事業 舗装工事業 水道施設工事業 解体工事業	茨城県知事許可 (特-02)第12444号
管工事業	茨城県知事許可 (般-02)第12444号

事業規模

活動規模	単位	H29	H30	R1	R2	R3	R4
資本金	百万円	72	72	72	72	72	72
売上高	百万円	904	1119	1602	2273	1287	1211
従業員数	人	29	33	33	34	32	32
本社床面積	m <sup>2</sup>	180	180	180	180	180	180
本社敷地面積	m <sup>2</sup>	500	500	500	500	500	500

## 2. 認証・登録の範囲

① 組織・大竹建設株式会社の全ての組織

- ・《本社》所在地 茨城県取手市小文間5584番地
- ・各工事現場(一時サイト)

② 建設業の許可にある下記の事業内容

- ・土木工事業
- ・建築工事業
- ・とび・土工工事業
- ・舗装工事業
- ・水道施設工事業
- ・管工事業
- ・解体工事業

③ 当社の全従業員

### 3. 環境経営方針

#### 大竹建設株式会社 環境経営方針

私たちは、21世紀に直面する地球環境の危機、特に温暖化防止、資源の枯渇を重要課題との認識にたち、建設工事等の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

#### <行動計画>

1. 具体的に次のことに取り組めます。

- ① 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の削減
- ③ 水資源の節水
- ④ 建設副産物のリサイクルを推進
- ⑤ 環境に配慮した重機、工法の選択  
(低騒音型重機使用、原則平日の昼間作業等)
- ⑥ 経営課題とチャンスに取り組む

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

改訂日:令和2年9月30日

代表取締役社長  
大竹 光

## 5. 主な環境負荷の実績と基準値の見直し

※新基準値は平成29年度から令和2年度の4年間の実績の平均値(社員数、工事総額按分での)を基準とする

No	項目	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	当年度基準値	基準項目
0	※例 (①から⑥は計算順)	-	120	140	160	128	⑥平均4.15*人数32 =132.8	
	社員あたり		①120/33= 3.64	②140/33= 4.24	③160/34= 4.71	④128/32= 4.01	⑤平均:①_④ =4.15	人数
1	電気使用量の削減(事業所)	kWh	13,481	16,757	11,345	13,855	13,463	人数
	社員あたり		408.51	507.78	333.67	432.96	420.73	
2	(現場)	kWh	18,619	41,538	61,514	36,799	29,730	人数
	工事金額あたり(100万円)		16.63	25.92	27.06	28.59	24.55	請負
3	軽油使用量の削減	ℓ	27,977	25,420	67,898	33,530	29,300	請負
	工事金額あたり(100万円)		25.00	15.86	29.87	26.05	24.20	
4	ガソリン使用量の削減	ℓ	27,057	28,250	26,967	25,580	26,148	人数
	社員あたり		819.90	856.06	793.14	799.37	817.12	
5	Co2の削減:事務所	Kg-Co2	69,986	72,930	68,641	67,912	67,775	人数
	社員あたり		2,120.78	2,210.00	2,018.85	2,122.25	2,117.97	
5'	Co2の削減:現場	Kg-Co2	82,236	83,901	208,248	102,632	89,980	請負
	工事金額あたり(100万円)		73.49	52.37	91.61	79.74	74.30	
6	一般廃棄物の削減 事業所	t	0.208	0.136	0.211	0.201	0.182	人数
	社員あたり		0.0063	0.0041	0.0062	0.0062	0.0057	
7	産業廃棄物の削減 現場	t	2,034.0	6,902.0	6,431.2	3,269.0	3,473	請負
	工事金額あたり(100万円)		1.81	4.30	2.82	2.54	2.87	
8	節水(事業所)	m <sup>3</sup>	19.0	12.0	16.0	19.0	16	人数
	社員あたり		0.57	0.36	0.47	0.59	0.50	
9	節水(現場)	m <sup>3</sup>	119.0	1,220.0	4,098.0	972.0	1,032	請負
	工事金額あたり(100万円)		0.10	0.76	1.80	0.75	0.85	
10	地域活動(事業所)	箇所	2	2	2	1	2	
	社員人数		33	33	34	32	32人	
	工事総額		1,119	1,602	2,273	1,287	1,211百万円	

※当年の予想人数・工事高に比例

### CO2排出係数

電気  
軽油  
ガソリン

0.376 Kg-CO2/kWh 東電EPの2022年度排出係数  
2.58 Kg-CO2/L  
2.32 Kg-CO2/L

## 6. 環境経営目標とその実績

### (1) 事業所の活動

項目	単位	当年度基準値	令和03年度		令和04年度(当年度)		令和05年度		令和06年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
※例	-	133	128	-	133	-	132	-	130	-
電気使用量の削減(事業所)	kWh	13,463	13,855	13,215	13,463	11,683	13,329		13,194	
ガソリン使用量の削減	ℓ	26,148	25,580	26,654	26,148	21,704	25,886		25,625	
二酸化炭素排出量の削減	Kg-Co2	67,775	67,912	67,865	67,775	54,790	67,097		66,420	
一般廃棄物の削減	t	0.182	0.201	0.120	0.182	0.099	0.181		0.179	
節水(事業所)	m <sup>3</sup>	15.9	19.4	15.0	15.9	4.0	15.8		15.6	
地域活動(事業所)	箇所	2	2	1	2	1	2		2	

※(二酸化炭素実排出係数 0.376(Kg-CO2/kWh)を使用): 負荷の自己チェック表より

※事務所の湯沸し用としてLPGを使用していますが、二酸化炭素排出量割合の0.1%と少量のため環境目標には掲げていません。

### (2) 建設現場等の活動

項目	単位	当年度基準値	令和03年度		令和04年度(当年度)		令和05年度		令和06年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
電気使用量の削減	kWh	29,730	36,799	36,549	29,730	32,018	29,433		29,135	
軽油使用量の削減	ℓ	29,300	33,530	31,378	29,300	21,828	29,007		28,714	
二酸化炭素排出量の削減	Kg-Co2	89,980	102,632	97,664	89,980	68,487	89,081		88,181	
産業廃棄物	t	3,472.5	3,269.0	3,596.6	3,472.5	3,193.0	3,437.8		3,403.1	
総排水量	m <sup>3</sup>	1,032.4	971.7	584.0	1,032.4	1,561.0	1,022.1		1,011.7	

※当社では化学物質は使用していません。

## 6. 主要な環境経営計画の内容

取組項目		計画の内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの温度設定 冷房 26℃、暖房 20℃</li> <li>・エアコンフィルターの定期清掃</li> <li>・不要部分の消灯</li> <li>・照明器具の定期清掃</li> <li>・省エネタイプの蛍光灯への切り替え</li> </ul>
	軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重機の定期点検の実施</li> <li>・重機の不使用時のエンジン停止の徹底</li> <li>・低燃費車優先使用</li> </ul>
	ガソリン使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの実施(急発進、急加速の禁止)</li> <li>・アイドリングストップの励行</li> <li>・トランク内に余計な荷物は積まない</li> <li>・タイヤ空気圧をこまめにチェックする</li> </ul>
廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使い捨て容器による製品の購入を控える</li> <li>・分別によりリサイクルする</li> <li>・ダンボール、箱等は多目的に使用</li> <li>・修理可能な物はなるべく修理して使う</li> </ul>
	一般廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷前に書類チェックし再印刷の削減</li> <li>・裏紙使用、コピー枚数削減</li> <li>・生ごみは社長宅の畑に肥料とする</li> </ul>
総排水量削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水ラベル貼付</li> <li>・トイレ使用水の節約</li> <li>・洗車頻度の見直し</li> </ul>
地域活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国交省清掃活動に参加</li> <li>・竜ヶ崎地区清掃活動に参加</li> </ul>
環境に配慮した重機・工法の選択		(環境活動項目) <ul style="list-style-type: none"> <li>・低騒音重機の優先使用</li> <li>・原則として平日昼間作業</li> <li>・低燃費重機の優先使用</li> <li>・重機不使用時のエンジン停止</li> </ul>

## 7. 環境経営計画の取組結果

(1)取組結果と評価： 結果は本社安全会議で発表し、社員に周知する

取組項目	R4年度目標	R4年度実績 達成率%	結 果
二酸化炭素排出量削減	H30年度～R3年度平均 値を基準値とし、人数・ 請負の按分による	目標／実績＝128% 157,755/ <b>123,277</b> kg-CO <sub>2</sub>	目標達成
電力使用量削減(事業所) 社員人数で按分	:社員人数で按分	目標／実績＝115% 13,463/ <b>11,683</b> (kWh)	目標達成
電力使用量削減(現場) 工事金額で按分	:請負金額で按分	目標／実績＝93% 29,730/ <b>32,018</b> (kWh)	目標未達成 昨年に比べ目標設定が厳しくなった。 しかしながら昨年の使用量から12%減と なっている。
軽油使用量削減 工事金額で按分	:請負金額で按分	目標／実績＝134% 29,300/ <b>21,828</b> (ℓ)	目標達成
ガソリン使用量削減 社員人数で按分	:社員人数で按分	目標／実績＝120% 26,148/ <b>21,704</b> (ℓ)  前年度(R3年) 目標／実績＝96% 25,580/ <b>26,654</b> (ℓ)	目標達成
廃棄物排出量			
一般廃棄物 社員人数で按分	:社員人数で按分	目標／実績＝184% 0.182/ <b>0.099</b> (トン)	目標達成
産業廃棄物 工事金額で按分	:請負金額で按分	目標／実績＝109% 3472.5/ <b>3193.0</b> (トン)  前年度(R3年) 目標／実績＝91% 3269.0/ <b>3596.6</b> (トン)	目標達成
地域活動			
高病原性鳥インフルエンザ防 疫措置作業へ作業員を派遣	参加	参加	目標達成
環境に配慮した重機・工法の 選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低騒音重機の優先使用</li> <li>・原則として平日昼間作業</li> <li>・低燃費重機の優先使用</li> <li>・重機不使用時のエンジン 停止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低騒音重機の優先使用</li> <li>・原則として平日昼間作業</li> <li>・低燃費重機の優先使用</li> <li>・重機不使用時のエンジン 停止</li> </ul>	計画達成

## 8. 環境関連法規制の遵守状況

### (1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

- ・当社の事業活動において適用される環境法規制等の定期評価において、全て遵守している事を確認した。

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票運用、委託契約書の確認 管理、マニフェストの発行 確認	遵守
建設リサイクル法	特定建設資材の対象工事における届出書面作成 廃棄物の分別	遵守
建設業法	許可の取得、請負契約の実施、監理技術者の確認	遵守
騒音規制法	指定地域における特定建設作業の届出	遵守
振動規制法	特定建設作業の市町村へ届け出	遵守
道路交通法	道路における対象工事・作業の許可申請	遵守
道路法	継続して道路を使用する対象物件の許可申請	遵守
浄化槽法	法に則った施工と保守点検	遵守
フロン排出抑制法	機器の点検・漏えい防止処置・点検履歴などの記録と保存 機器の廃棄時は適正な回収業者に処理を依頼・費用を負担	遵守

### (2) 違反、訴訟等

- ・環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

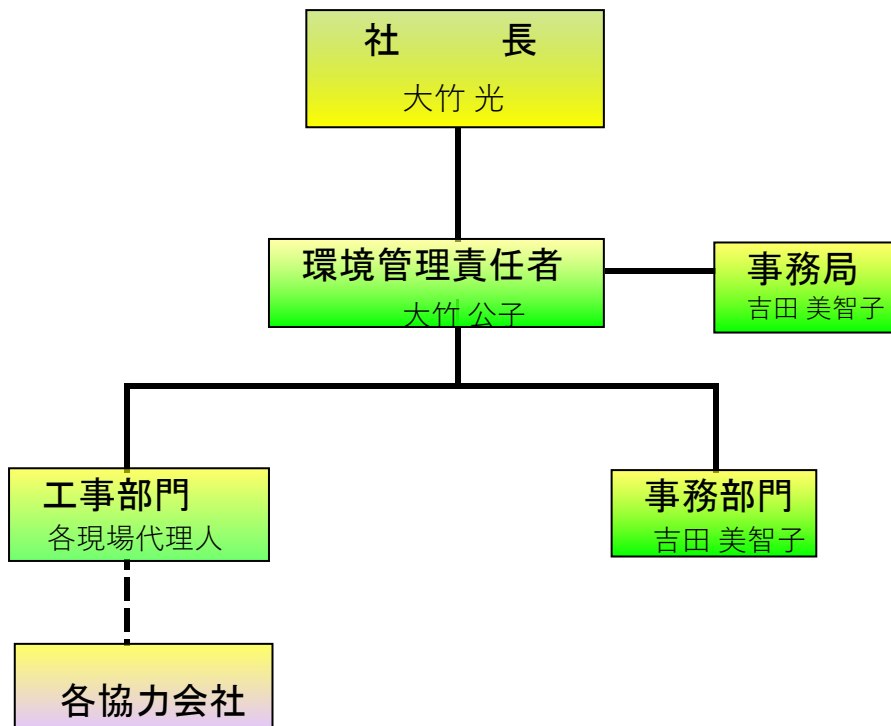


## 9. 環境経営計画の取組評価と次年度の取組

		評 価	次年度の取組み
購入電力	事業所	○目標達成 ・エアコンを省エネ型に交換する ・不要部分の消灯は励行されていた ・空調と扇風機の併用実施が効果的	・照明器具の定期清掃 ・休憩時の照明消灯の徹底 ・夏期の空調設定温度を27℃とし扇風機を併用
	現場	●目標未達成 ・電気動力作業が前期より微増	・引き続き、現場事務所の電力を下げる努力をする(昼間の照明、暖房を節約する)
ガソリン消費量		○目標達成	・トランク内に余計な荷物は積まない ・タイヤ空気圧のこまめなチェック ・アイドリングストップを含めエコドライブ意識の見直しを社内で再啓発
軽油消費量		○目標達成	・現場は継続努力を行う
排水量の削減		○目標達成 水を大量に使う工事が減少したことによる。	・継続して節水の努力をする ・手洗い時の節水推進 ・元バルブの水量調節 ・水道配管からの漏水チェック
廃棄物排出量	(事業所一般廃棄物) ○目標達成  (現場 産業廃棄物) ○目標達成		・使用済みコピー用紙のリサイクル化 ・裏紙使用の更なる促進 ・分別収集作業の促進  ・現場での資源の有効利用、廃棄物の3R活動の啓発により意識改革推進
地域活動	・高病原性鳥インフルエンザ防疫措置作業へ作業員を派遣。  1件行った		・地域ボランティアへの参加
重機・工法の選択 環境に配慮した	(環境活動項目) ・低騒音重機の優先使用 ・原則として平日昼間作業 ・低燃費重機の優先使用 ・重機不使用時のエンジン停止		・継続努力を行う

## 10. 実施体制

# 環境経営組織図



### 組織の構成員

### 役割・責任・権限

社 長

- ①環境方針を定める
- ②環境管理責任者を任命する
- ③組織・役割・責任を定める
- ④活動の実績を見直し必要な指示を行う

環境管理責任者

- ①システムの構築、運用
- ②運用状況の把握、社長に報告
- ③各種教育を行う

事 務 局

- ①各種データの収集及び整理
- ② 環境管理責任者を補佐しシステムを円滑に運用する。

工事部門

- ①現場施工及び管理
- ②各現場での計画実践
- ③マニフェストの発行及び確認
- ④各協力会社への指導

事務部門

- ①事務所内での計画実践
- ②グリーン購入計画・実施

平成22年6月18日

令和4年4月1日 :改正

代表取締役 大竹 光

## 11. 代表者による全体の取組状況の評価

今年1年間、ほとんどの項目で目標値を達成しました。

唯一、現場における電気使用量だけが目標を下回りましたが昨年と比べて14%減としており、着実な成果をあげていると言えます。毎年のように起きる異常気象に、現場としては安全第一を念頭に近隣の方や工事関係者の方々へ配慮しながら、環境への取組を進めて参ります。

社員ひとりひとりの言葉に耳を傾けながら、社内環境の改善もあわせて取り組み、環境にも人にも配慮できるよう意識を向けたいと思います。

引き続き、現況に応じて適正な目標を掲げ、従業員ひとりひとりの環境へのさらなる意識向上と社会活動の活性化を目指します。

令和5年9月30日  
大竹建設株式会社  
代表取締役 大竹 光